

各 位

平成 19 年度 地域密着型金融の取組み状況について

平成 19 年度の取組み状況について、「基本方針」及び「取組み状況」並びに「主要計数等」を下記のとおり開示いたします。

「基本方針」

1. 当金庫は、健全経営に徹し、経営力強化（収益力、経営管理、リスク管理、法令等遵守）に努めるとともに、経営内容の積極的な開示に努めます。
2. 当金庫は、地域の様々な分野においてお客様と長期的な信頼関係を構築し、共存共栄を目指します。
3. 当金庫は、お客様のご意見やご要望を真摯に受け止め、お客様の保護と利便性向上に努めます。
4. 当金庫は、事業主の皆様に対し外部機関・信金中央金庫等とも連携し、創業～事業再生まで支援するとともに、中小企業金融の円滑化に努めます。
5. 当金庫は、地域のお客様からお預りした預金は、地域のお客様に出来る限り融資し、余裕資金（預金と融資の差額）は安全な運用を基本とします。
6. 当金庫は、地域の様々な情報を有効に活用し、地域経済に貢献します。
7. 当金庫は、地域のお客様のことをよく理解し、行動できる人材育成に努めます。

「取組み状況」

大項目	小項目	タイトル	取組み内容等
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化	創業・新事業支援	創業・新事業支援態勢	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年度優良店舗表彰項目に地域密着型金融への取組みを設け、全体運動にするとともに、各種会議・営業店ヒアリングの際に積極的に推進するよう改めて指示しました。 ・政府系金融機関と情報交換会を実施しました。また、鹿沼商工会議所と連携し、「鹿沼ビジネスチャレンジ事業」に取組み、地域の優れた中小企業の育成に努めています。 ・独自商品である創業、新事業支援資金の新商品「創世起」の販売を決定しました。（平成 20 年 4 月 1 日販売開始）

		融資審査能力の向上への 取組み	・「企業訪問による実地研修」、「優良企業経営者を講師とする勉強会」を実施し、技術力や経営者の取組み姿勢を学ぶとともに、目利き能力向上に努めています。
		産学との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「宇都宮大学およびとちぎ大学連携サテライトオフィス運営協議会」と産学連携の協力推進に係る協定を締結しました。(平成19年12月20日) ・「かぬましんきん産学連携交流会」を開催しました。(平成20年2月15日) <ul style="list-style-type: none"> *参加者：事業者143名、宇都宮大学関連6名、商工会議所関連9名、報道機関5名、当金庫20名、合計183名 *内容 <ul style="list-style-type: none"> 第1部：講話「宇都宮大学地域共生研究開発センターの活動について」 「とちぎ大学連携サテライトオフィスの活用方法」 第2部：交流会 ・交流会の結果、取引先の研究開発等の相談を宇都宮大学へ1件、サテライトオフィスへ7件紹介しました。 ・紹介の結果、成果は顧問契約2件、商業申請1件となりました。 ・平成20年度下期に第2回「かぬましんきん産学連携交流会」を計画し、産学交流を当地に定着させてまいります。
	経営改善支援	中小企業再生支援協議会の活用等	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会を訪問し、関連資料と事業に関する情報交換等を実施しました。 ・営業店臨店を計4回実施。対象債務者個々の実態把握や計画の進捗状況等を確認し、実態把握の不足については個別に指導を行いました。 ・中小企業再生支援協議会を通し支援に取り組んでいる事業所は6社ありますが、実調・面談の機会を設けて実態把握を進めるとともに、新規案件の相談持込みについても、積極的に対応してまいります。
2. 中小企業に適した資金供	担保・保証に過度	新しい融資手法の検討及	・スコアリング手法を活用した融資（スーパーセーフティ等）に継続して取

給手法の徹底	に依存しない融資の推進等	び取組み	<p>組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流動資産担保融資保証制度（ABL 保証制度）（旧：売掛債権担保保証制度）等の取扱を開始しました。
3. 持続可能な地域経済への貢献	地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的再生への取組み	<p>法務、財務、税務等の外部専門家との連携</p> <p>多重債務者問題への取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫より中小企業診断士2名を講師に招聘し、次席と融資担当役席、計19名を対象に「中小企業経営改善実務研修」（テーマ：SWOT分析と土木建設業の特質）を開催しました。（平成19年7月20日） ・商工会議所主催の「公認会計士セミナー」に、職員22名が中小企業者とともに参加しました。新会社法に対応した「中小企業の会計」等に関する知識習得を図りました。（平成19年11月15日） ・対象事業者を、県・特別相談窓口へ取次ぎ、中小企業診断士から経営上の工夫や財務面についてアドバイスを受けました。（平成19年10月22日、同20年3月12日） ・栃木県・中小企業診断士協会から中小企業診断士2名を招聘し、「経営相談会」を開催しました。経営改善取組先8社が、マンツーマンで直接経営指導を受講しました。（平成20年1月23日） ・栃木県・産業振興センター総合支援部へ取引先事業者と審査管理部支援グループの担当者が、同行訪問しました。自社開発した新商品の販路拡大戦略について指導員よりアドバイスを受けました。（平成20年2月8日） ・事業者を対象とした「法務、財務、税務等の外部専門家と連携」については、対象事業所から一定の評価を得られました。今後は、施策を経営に反映させていくことが課題で、継続管理が必要となっています。 ・当庫職員のスキル（目利き能力）アップ施策は、主に営業店次席、融資担当役席に対する研修会開催で、一定の成果が得られました。 ・職員向けの研修・セミナーについては、多くの職員に受講機会を設け、継続的なスキルアップを図る必要があると認識しています。 ・相談センター内に「かぬましんきんローンクリニック」を開設（土曜日の

		み	<p>受付可) しました。(平成 19 年 12 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木県司法書士会鹿沼支部と協力提携しました。(平成 20 年 2 月) ・ 多重債務者への支援商品の発売を検討しました。 ・ 金庫内会議及び営業店ヒアリング等において、予防策を含めて多重債務者問題に積極的に取組むよう周知徹底しました。 ・ 開設後 2 件の相談が寄せられ、1 件は司法書士へ紹介、残りの 1 件は相談中となっています。 ・ 多重債務者問題への取組みは、「地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的再生への取組み」の一環であることを理解しています。成果を数字で評価する分野ではなく、真摯な対応が必要と考えています。
	地域の活性化につながる多様なサービスの提供	コミュニティ・ビジネスや NPO への支援・融資	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・ビジネスの創業支援を通して、将来性のある事業者の発掘に努めています。 ・ 栃木県の制度融資「栃木県 NPO 活動基盤サポート資金融資制度」の利用促進に努めます。 ・ 行政及び商工会議所等と情報交換を実施し、コミュニティ・ビジネスの創業を目指す事業者の発掘に努めましたが新規案件には結びつきませんでした。 ・ 平成 19 年度の「栃木県 NPO 活動基盤サポート資金融資制度」実績は、2 件融資金額 23 百万円となっています。
	地域を担う若い世代や高齢者への金融知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代への金融知識普及のために、地域の小学校に対し、大学等との産学連携を活用した [出前研修] を計画し、サテライトオフィスと鹿沼市教育委員会へ出向き事前準備を進めました。 ・ 当地区の学校 (小学校、中学校、高校) から職場体験、インターシップ等を受け入れました。(8 校、延 18 人) ・ 高齢者 (年金受給者) 向け定期情報誌 (年 2 回発行・12 千部) の金融知 	

			<p>識欄を充実するとともに、振り込め詐欺注意喚起を狙いとして「ご注意 まだまだ続く“振り込め詐欺等”の被害」を掲載し啓蒙に努めました。(平 成 20 年 3 月 5 日)</p>
4. 経営力強化	総代会機能向上に向けた取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・ 総代会に関する適切なディスクロージャーに努めました。 ・ 会員となられるお客様への適切な説明を行っています。 ・ 一般会員のお客様からの意見を聞くため、19 年度事業報告書に「ご意見・ ご要望アンケート調査」を同封し、その結果を経営に活かしてまいります。
	半期開示の充実に向けた取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・ 半期開示の充実に努めています。
	信用リスク管理態勢の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題債権を早期に把握する態勢の整備に努めています。 ・ 大口与信先の個別管理態勢に努めています。 ・ リスク特性が相似した対象先への与信管理態勢の整備に努めています。 ・ 各店の取引先（各 50 社）のこまめな与信管理に努めています。 ・ 余信先の経営実態を勘案した与信管理に努めています。 ・ 取引先の真の再生に取り組む態勢に努めています。
	市場リスク管理態勢の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・ 有価証券の価格変動等への対応に努めています。 ・ 有価証券の限度枠・リスク特性の把握に努めています。 ・ 市場リスクの監査態勢に努めています。 ・ 有価証券運用状況の把握と信金中央金庫の活用に努めています。
	法令等遵守の徹底		<ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンスプログラムの充実に努めています。 ・ コンプライアンス研修の実施、コンプライアンス担当者による意見交換会 を実施しています。 ・ 全部店の法令等遵守状況を点検しています。 ・ 自店監査、監査部監査による検証を行っています。 ・ 理事会等への定期的な報告を行っています。

「主要計数」

項目	実績															
経営改善支援取組み率 ＊経営改善支援取組み先数 46（正常先を除く）/期初債務者数 299（正常先を除く）]	15.4%															
再生計画策定率 ＊再生計画策定先数 46（正常先を除く）/経営改善支援取組み先数 46（正常先を除く）	100.0%															
ランクアップ率 ＊ランクアップ先数 6（正常先を除く）/経営改善支援取組み先数 47（正常先を除く）	12.8%															
創業・新事業支援融資実績	<table border="1" data-bbox="1395 488 2049 735"> <thead> <tr> <th>資金名</th> <th>件数</th> <th>金額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創業支援資金</td> <td>13</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>新事業支援資金</td> <td>5</td> <td>398</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18</td> <td>464</td> </tr> </tbody> </table>	資金名	件数	金額 (百万円)	創業支援資金	13	66	新事業支援資金	5	398	合計	18	464			
資金名	件数	金額 (百万円)														
創業支援資金	13	66														
新事業支援資金	5	398														
合計	18	464														
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績	<p>＊流動資産担保融資保証制度 6件 14百万円</p> <p>＊財務制限条項活用融資 1件 24百万円</p> <p>＊スコアリング手法を活用した融資</p> <table border="1" data-bbox="1395 1011 2040 1353"> <thead> <tr> <th>商品名</th> <th>件数</th> <th>金額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「スーパーセーフティ ー」</td> <td>20</td> <td>690</td> </tr> <tr> <td>「絆」</td> <td>213</td> <td>2,228</td> </tr> <tr> <td>「リレーション」</td> <td>71</td> <td>498</td> </tr> <tr> <td>「力」</td> <td>14</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>	商品名	件数	金額 (百万円)	「スーパーセーフティ ー」	20	690	「絆」	213	2,228	「リレーション」	71	498	「力」	14	26
商品名	件数	金額 (百万円)														
「スーパーセーフティ ー」	20	690														
「絆」	213	2,228														
「リレーション」	71	498														
「力」	14	26														

	「ビジネスサポート」	6	43
	「無担保当貸 5000」	60	1,400
* 当座貸越は極度額			

以上